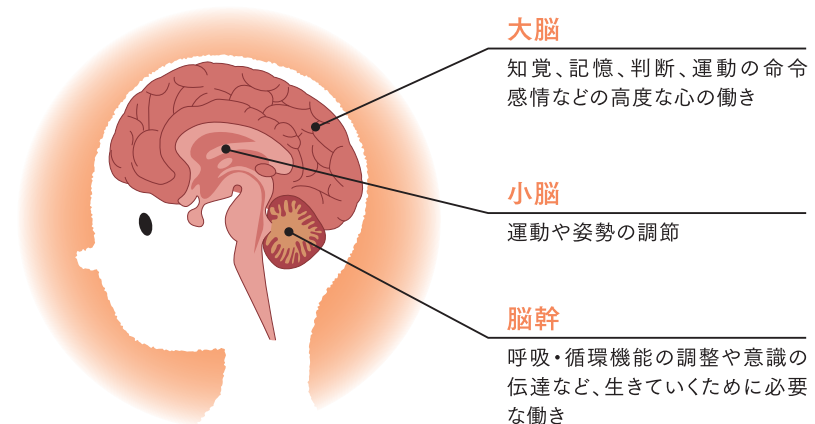


☀ 脳死とは？

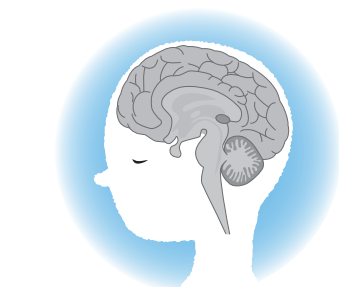
重篤な脳血管障害・頭部外傷・低酸素脳症などと診断された患者さまのなかには、『脳死』と呼ばれる状態に陥る場合があります。

脳死になると脳全体が機能しなくなり、自分で呼吸することができません。脳の一部の機能が残っていて、自分で呼吸ができる植物状態とは全く別の状態です。

正常な脳



脳死



脳死の脳

脳幹を含めた脳全体の機能が失われ、二度と元には戻りません。日本を含む世界のほとんどの国で、脳全体の機能が失われた状態を『脳死』としています。

植物状態



植物状態の脳

脳幹の機能が残り、自ら呼吸できることが多く、脳死とは、全く別のものです。

☀ 脳死の特徴

深昏睡である

痛みの刺激などによっても全く反応がなく、動かない状態です。

瞳孔が散大し固定している

黒目の部分が大きく広がり、固定された状態です。

脳幹反射が消失している

・対光反射・角膜反射・毛様脊髄反射・眼球頭反射
・前庭反射・咽頭反射・咳反射などの反射がない状態です。

自発呼吸が消失している

自分の力では全く呼吸をすることができない状態です。

脳波が平坦である

大脳の機能が消失している状態です。(脳波計で検査します。)

☀ 脳死に陥った場合の経過

脳死の状態になると自分で呼吸ができないため、人工呼吸器の助けが必要です。

しかしあくまで一時的な救命処置であり、どんな治療をしても意識が回復することはなく、多くは数日間で心停止に至ります。

今後の治療方針については、主治医にご相談ください。